

発達障がいとは、周りの人から見るとそれが障がいだとはわかりにくい場合も多く、「話が通じない」「わがままだ」「不注意な人だ」「努力が足りない」などと思われてしまって、理解されにくい障がいです。

そのせいで、本人や家族が辛い気持ちに追い込まれてしまうこともありますが、発達障がいは、周りの人の理解や協力があれば、本人が感じる困難さを減らせることができます。

ここでは、発達障がいの特徴の一例を示していますが、こどもから大人まで年齢もさまざまで、どんなことが得意で、どんなことが苦手で、どのような支援が必要なのか、それぞれの人によって異なります。



※ここでは、主に発達障害者支援法に定義されている障がい名に基づいて記載しています。

### ●広汎性発達障がい (PDD) とは …

自閉症、アスペルガー症候群のほか、特定不能の広汎性発達障がいを含む総称です。

※自閉スペクトラム症 / 自閉症スペクトラム障がい (ASD) は広汎性発達障がいとほぼ同義。

医学的には「自閉スペクトラム症」という診断名が広く使われています。

### ●自閉症とは …

対人関係・社会性の障がい、コミュニケーションの障がい、

パターン化した行動・こだわりなどの3つの特徴をもつ障がいで、

言葉の発達の遅れがあり、3歳までには何らかの症状がみられることが多いです。

例えば、いつもと同じ予定だと安心して行動できますが、急な予定の変更は、とても不安な気持ちになります。

目で見たことを理解するのが得意な場合が多いので、絵や写真を使ったわかりやすい方法で予定の変更を早めに伝えておいてもらうと、見通しも持ちやすくなります。

### ●アスペルガー症候群とは …

コミュニケーションの障がい、対人関係・社会性の障がい、

パターン化した行動、興味・関心のかたよりがあります。

幼児期に明らかな言葉の発達の遅れはみられません。

例えば、言葉はたくさん知っていますが、その場にふさわしい言葉を選べないことがあります。

はっきり言われるとわかるのですが、なんとなく雰囲気を感じとったり、人の表情から気持ちを読みとることは苦手です。

しかし、興味のあることには、とんとん集中するので、専門家顔負けの知識をもっていて、周りの人に感心されることもあります。

例えば、言葉はたくさん知っていますが、その場にふさわしい言葉を選べないことがあります。

はっきり言われるとわかるのですが、なんとなく雰囲気を感じとったり、人の表情から気持ちを読みとることは苦手です。

しかし、興味のあることには、とんとん集中するので、専門家顔負けの知識をもっていて、周りの人に感心されることもあります。

### ●注意欠陥多動性障がい (ADHD) とは …

集中できない (不注意)、じっとしていられない (多動・多弁)、

考えるよりも先に動く (衝動的な行動) などを特徴としています。

例えば、注意力や集中力が続かなくて、興味の対象が次々変わります。そのせいで

忘れものも多くなります。気になったら我慢できず、後のことは考えずに動いてしまいます。じ

っとしている事が苦手で、歩き回ったり、ずっと身体のどこかを動かしていることが多いです。

でも、気配り名人で、困っている人がいれば誰よりも早く気づくことができます。

### ●学習障がい (LD) とは …

全般的な知的発達に遅れはないのに、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなどの

うち、極端に苦手なことがあります。例えば、読むことが苦手な場合、内容を読みあげてもら

ったり、メモをとることが苦手な場合、ボイスレコーダーやカメラを使って記録するなど、他の

方法を取り入れる工夫をすることで苦手なことにも対応しやすくなります。